

報道関係者 各位

平成 28 年 4 月 19 日



一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

第 1 回全国介護福祉総合フェスティバル in 大阪を開催 **「みんなで考えよう 地域の介護福祉の現状と未来」**

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会（代表理事＝多田 宏）は、7月2日（土）、3日（日）、4日（月）の3日間、「第1回全国介護福祉総合フェスティバル in 大阪」を開催いたします。

大会メインテーマは「みんなで考えよう 地域の介護福祉の現状と未来」で、①「介護と地域づくり」、②「介護と子どもの教育」、③「介護現場の課題と経営」を各日のテーマとし、魅力的なシンポジウム、トークショー、セミナーを繰り広げます。

7月3日（日）、4日（月）は会場内に「展示エリア」を設置。介護ロボット、福祉用具、ICT 機器、介護食など、介護福祉を支える最先端技術の数々を見て、触れて、学べます。

さらにお笑いの本場・大阪ならではの「お笑い介護ステージ」、介護をテーマにした映画を紹介する「シアタータイム」など、みんなで介護を楽しみながら学べるイベントも盛りだくさん用意しています。

入場無料ですが、シンポジウムおよびセミナーは事前参加登録が必要です。詳しくは開催概要の最新情報と合わせて、本会ホームページ (<http://www.nkfk.jp>) にてご案内いたします（一部のシンポジウム、セミナーは有料です）。

ぜひたくさんの方々にお運びいただきたく、広報にご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上

開催要綱

| | |
|-----------------|---|
| 1. 行事名 | 第1回 全国介護福祉総合フェスティバル in 大阪 |
| 2. 主催者名 | 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 |
| 3. 目的 | <p>テーマ：みんなで考えよう 地域の介護福祉の現状と未来</p> <p>《開催主旨》</p> <p>団塊世代が75歳以上となる2025年まで残り9年、介護は緊急課題となっています。しかし、急増する高齢者の介護問題を介護保険制度だけですべて解決することは財政的にも非常に厳しいと言わざるを得ません。そのため、今後は介護福祉関係者のみならず、他産業との連携による新しいサービス・製品の共創や、それぞれの地域性に合った対策を講じていく必要があります。</p> <p>加えて、将来的にはさらに少子高齢化が進展するため、増加する介護需要を抑えるための健康づくり等の方策が不可欠です。また、子ども・若年世代が介護福祉にふれて、認識を深める機会を増やすことが重要だと考えます。</p> <p>そこで当フェスティバルは、「介護福祉経営士」による問題提起、発信を行うと同時に、幅広い世代、立場の人々が地域の介護福祉のあり方について考え、未来への夢をふくらませる場とします。</p> |
| 4. 日時と会場 | <p>第1日：平成28年7月2日（土） 13時～17時半／交流会 18時～</p> <p>【会場】シティプラザ大阪（大阪市中央区本町橋 2-31）</p> <p>第2日：7月3日（日） 10時～16時半</p> <p>【会場】大阪産業創造館（大阪市中央区本町 1-4-5）</p> <p>第3日：7月4日（月） 10時～17時半</p> <p>【会場】大阪産業創造館（大阪市中央区本町 1-4-5）</p> |
| 5. 後援団体 （予定） | 厚生労働省、大阪府、大阪市、大阪府社会福祉協議会、公益社団法人大阪介護福祉士会、公益社団法人大阪介護老人保健施設協会、全国社会福祉協議会、公益社団法人全国老人福祉施設協議会、公益社団法人全国老人保健施設協会、公益社団法人日本介護福祉士会、公益社団法人日本認知症グループホーム協会、一般社団法人シルバーサービス振興会、一般社団法人日本介護協会、一般社団法人福祉住環境アソシエーション、西宮介護ネットワーク、特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン推進協会、一般社団法人日本医療経営実践協会、一般社団法人介護福祉指導教育推進機構、一般社団法人日本栄養経営実践協会ほか |
| 6. 参加対象 | 介護事業者、介護・医療従事者、教育関係者、行政関係者、企業関係者、学生ほか計2,500人 |
| 7. 参加費 | 入場無料（※一部有料セミナー、シンポジウムあり） |

開催プログラム

■7月2日（土）

【第1日のテーマ：介護と地域づくり／会場：シティプラザ大阪】

介護の課題を考えることは、これからの「地域創生」に深くかかわるテーマです。

第1日は「介護と地域づくり」をテーマに掲げ、住民、行政、さまざまな立場がどのように介護を進化させ、地域を活性化させていくか語り合います。

| |
|--|
| ◆開催地代表挨拶 「福祉先進地・大阪から発信する新しい介護福祉」 酒井隆行（大阪府福祉部長） |
| ◆基調講演 「障がい者・高齢者の社会参加を軸とした地域づくり」 谷畑英吾（滋賀県湖南市長） |
| ◆シンポジウム①「福祉と医療・看護がまちづくりに果たす役割」 坪 茂典（社会医療法人愛仁会 本部・介護福祉事業部長 社会福祉法人愛和会 本部・統括部長） 石井富美（よどきり医療と介護のまちづくり株式会社） 金森佳津（元・大阪府政策企画部 医療戦略担当副理事） ほか 【コーディネーター】青木正人（株式会社ウエルビー代表取締役） |
| ◆シンポジウム②「地域を耕すために必要なことは？」 【コーディネーター】高瀬比左子（未来をつくる kaigo カフェ主宰） |
| ◆交流会 |

■7月3日（日）

【2日目のテーマ：介護と子どもの教育／会場：大阪産業創造館】

超高齢社会の未来を担う子どもたちに、私たち大人は介護を通して何を伝えていくべきでしょうか？ 大会2日目は、さながら「介護の文化祭」のように会場が一体となり、みんなで未来を考える機会とします。

| |
|--|
| ◆シンポジウム「みんなで考えよう『介護×教育』」 新崎国広（大阪教育大学 教養学科人間科学講座准教授） 長谷憲明（日本介護福祉経営人材教育協会 関西支部理事、関西国際大学教育学部教授） ほか |
| ◆お笑い介護道場 |
| ◆未来をつくる kaigo カフェ in OSAKA「子どもたちに伝えたい介護の真実」 【ファシリテーター】高瀬比左子（未来をつくる kaigo カフェ主宰） |
| ◆シアタータイム |

■7月4日（月）

【3日目のテーマ：介護現場の課題と経営／会場：大阪産業創造館】

介護現場が地域を支えていくうえで、どんなことが必要なのか。今、解決しなければならない課題は何か。「介護と地域づくり」「介護と子どもの教育」を踏まえて、介護現場がどのように現状を打破していくのか探っていきます。

| |
|--|
| ◆シンポジウム「選択する最期～エンディングを支える介護をめざして～」 |
| ◆在宅医療カレッジ大阪校 「高齢者の低栄養とチーム医療・チームケア」 【コーディネーター】佐々木淳（医療法人悠翔会理事長） |
| ◆シンポジウム「介護福祉経営士がデザインする新しい介護福祉」 |
| ◆介護経営セミナー①「地域包括ケア時代の介護経営」 小濱道博（小濱介護経営事務所代表） |
| ◆介護経営セミナー② 「介護甲子園グランプリ事業所に学ぶ 利用者も職員も元気な介護現場の条件とは」 一般社団法人日本介護協会 |
| ◆介護経営セミナー③「介護経営とファイナンス」 |

※2016年4月15日現在。

※演題、出演者は予告なく変更する場合があります。

※7月3日（日）、4日（月）は、大阪産業創造館3階を【展示エリア】とし、協賛企業のブース出展を行います。

〈本件に関するお問い合わせ先は、下記までお願いします〉

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会 事務局（星野・山口）
TEL：03-3256-0571 FAX：03-3256-0572 Mail：info@nkfk.jp